



笛吹市

議会だより

創刊号

平成17年2月18日発行

2005

Vol.1

GIKAI DAYORI



日本一の観光都市を
目指すために
実現は可能か?



FUEFUKI CITY



笛吹市

議会だより

2005 Vol.1

表紙.....1

あんない・議会日誌・会期日程.....2

創刊のあいさつ.....3
議長 創刊のあいさつ 市長 発刊によせて

笛吹市議会スタート! 議会構成.....4~5

荻野市長の施政方針.....6

12月定例議会の議案.....7~9

一般質問(13議員).....10~19

渡辺 清美議員 山本 富貴議員 亀山 和子議員
渡辺 正秀議員 松澤 隆一議員 前島 敏彦議員
川村 恵子議員 杉岡喜美雄議員 前田 初男議員
大久保俊雄議員 日高せい子議員 新田 治江議員
風間 好美議員

笛吹市役所に聞いてみました/編集後記.....20

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY

議会日誌 GIKAI diary

10月 October

12日 笛吹市開庁式

25日 議会運営委員会研修(甲府市、南アルプス市)

26日 建設経済常任委員会市内視察

11月 November

14日 笛吹市長・市会議員選挙

17日 議員説明会

24~29日 臨時議会、開会

29日 閉会

2月 February

1日 議会広報編集委員会

4日 教育厚生常任委員会研修(北杜市)

9日 全員協議会

12月 December

6日 議会運営委員会

9日 12月定例会開会

13日 一般質問

14日 議会広報編集委員会

15~17日 常任委員会

21日 12月定例会閉会

24日 東山梨行政組合議会

27日 東山梨環境衛生組合議会

28日 仕事納め

1月 January

4日 仕事始め

7日 全員協議会

9日 成人式

10日 出初式

14日 監査委員打合せ会

18日 宮崎県日南市議会視察研修(来庁)

12月議会・会期日程

- 12月9日(木)議員協議会
開会
- ・本会議
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・諸報告
- ・提出議案の説明
- 12月13日(月)~14日(火)
- ・本会議 一般質問
- 12月15日(水)~17日(金)
- ・各常任委員会 付託事件審査
- 12月21日(火)
- ・本会議
- ・委員長報告
- ・質疑、討論、採決
- 閉会



創刊のことば

新市の輝かしい未来に向かって



笛吹市議会議長

龍澤 敦

市民の皆様には、日ご
ろから議会活動につきま
してご理解とご協力をい
ただき、議員一同を代表
し心より感謝申し上げます。

このたび、市制施行初
の議会におきまして、初
代の議長に選出されまし
た。まことに身に余る光
栄と感激をいたすとも

に、その職責の重要性と
使命の重大さを痛感いた
しているところでありま
す。もとより浅学非才な
私ではございますが、皆
様のご指導ご鞭撻を賜り
ながら笛吹市議会の民主
的、円滑な運営に最善の
努力を傾注してまいる所
存です。

また、これから新市建
設計画に基づき、市行政
が市内一円に公平に、正

しく執り行われるよう是々
非々の政治理念に基づき、
意思決定機関としての機
能を十分発揮し、議会が
担う役割に全力で取り組
んでまいります。

さて、本市も昨年十月
十二日に旧石和町、御坂
町、一宮町、八代町、境
川村、春日居町が合併し
誕生いたしました。人口
も七万二千余となり、財
政規模も一九八億円と大
幅に増えたわけでありま
すが、昨今の社会は長引
く経済不況のもと、急速
に進む、少子・高齢化や
ひっ迫する環境問題をは
じめとする多くの困難な
課題に直面しております。

このような時代に私ど
も議員は、常に自己研鑽
を積みながら、この激動
する社会情勢の中で、市
民のニーズに的確に対応
し、住んで良かった、合
併してよかったと思われ
る自立性と、個性に満ち
た街づくりを目指し取り
組んでまいる所存であり
ます。

今後とも、議会に対し
ましてご支援、ご協力賜
りますようお願い申し上げ
ますとともに、市民の
皆様のご健勝とご繁栄を
祈念し、ごあいさつとい
たします。

笛吹市議会広報の発刊に寄せて



笛吹市長

荻野 正直

笛吹市は、昨年十月十
二日に旧石和町、御坂町、
一宮町、八代町、境川村、
春日居町をもって合併し
誕生いたしました。合併

までの三力年余りにわた
りさまざまな協議を重ね
てまいりました。

昨今の国の財政状況は
ひっ迫するものがあり、
その矛先は地方に向けら
れ、自立した地方分権社

会を目指すとの施策のも
と、平成の大合併は期限
を定められ、市町村はや
むなく合併を強いられて
いるところです。

しかし、合併をするこ
とに悲観ばかりしている
わけにはまいりません。
幸いにも、笛吹市は優
れた産業、文化、歴史、
観光をもち、これらを有
効的に活用し、躍動する
都市づくりを目指してま

いたいと思います。そ
れには、なにより議会と
連携をとり、効率よく事
業執行していくことだと
考えております。

市民の総意を市政に反
映させるべく、まい進し
てまいりますので、今後
とも議会ともどもご理解
ご協力賜りますようお願い
い申し上げ、発刊に寄せ
ての言葉に代えさせてい
ただきます。

スタート!

がんばります!

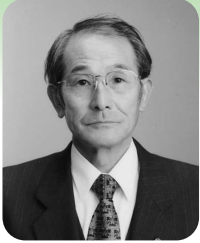


副議長
山崎 光世



議長
龍澤 敦

総務常任委員会



委員
堀内 文蔵
(62)
(御坂町)



委員
山崎 光世
(60)
(春日居町)



委員
上野 稔
(62)
(石和町)



副委員長
大久保俊雄
(42)
(石和町)



委員長
中村 善次
(58)
(一宮町)



委員
前島 敏彦
(49)
(一宮町)



委員
中川 秀哉
(36)
(石和町)



委員
野沢 勝利
(60)
(石和町)



委員
渡辺 正秀
(55)
(八代町)



委員
内藤 武寛
(62)
(八代町)

教育厚生常任委員会



委員
中川 稔夫
(68)
(石和町)



委員
亀山 和子
(60)
(石和町)



委員
山本 富貴
(70)
(春日居町)



副委員長
新田 治江
(57)
(境川町)



委員長
井上 一己
(72)
(一宮町)



委員
雨宮 四郎
(61)
(一宮町)



委員
川村 恵子
(47)
(一宮町)



委員
日高せい子
(51)
(御坂町)



委員
石倉 泰明
(64)
(八代町)



委員
杉岡喜美雄
(57)
(御坂町)

30人
3常任委員会

笛吹市議会

市民の代表として

建設経済常任委員会



委員
寶 修
(50)
(石和町)



委員
龍澤 敦
(66)
(境川町)



委員
前田 初男
(56)
(御坂町)



副委員長
風間 好美
(56)
(八代町)



委員長
志村 勢喜
(64)
(石和町)



委員
渡辺 清美
(46)
(八代町)



委員
降矢 好文
(57)
(一宮町)



委員
松澤 隆一
(65)
(春日居町)



委員
小林 始
(54)
(御坂町)



委員
海野利比古
(55)
(石和町)

議会運営委員会

野沢 勝利 石倉 泰明
中村 善次 前島 敏彦
志村 勢喜 海野利比古
井上 一已 中川 稔夫
小林 始

議会広報編集委員会

堀内 文藏 龜山 和子
大久保俊雄 日高せい子
前田 初男 渡辺 清美

議会選出監査委員

小林 始

組合議会議員

東八代広域行政事務組合議員
龍澤 敦 中村 善次 井上 一已 志村 勢喜
内藤 武寛 杉岡喜美雄 風間 好美
東山梨行政事務組合議員
山崎 光世 上野 稔
峡東地域広域水道事業団議員
龍澤 敦 山崎 光世 寶 修 松澤 隆一
野沢 勝利 井上 一已
東山梨環境衛生組合議会議員
山崎 光世 井上 一已 山本 富貴 川村 恵子
青木が原ごみ処理組合議員
龍澤 敦 井上 一已 新田 治江
釈迦堂遺跡博物館組合議会議員
中村 善次 山崎 光世 井上 一已 雨宮 四郎
降矢 好文

〓 委員長
〓 副委員長

萩野市長の施政方針

(要旨)



完成間近の御坂生涯学習センター『学びの杜』

快適・安心の都市づくりをめざして

予断を許さぬイラク情勢、原油価格の動向、依然として緩やかなデフレ傾向の国内経済のうちに、新たな年を迎えました。

十一月二十六日に、政府与党合意による三位一体改革の全体像が示されました。これは地方六団体が提出した国庫補助、負担金に関する改革案をもとに、国と地方が七回に及ぶ協議を経て取りまとめたものです。その内容は多くの課題が先送りされ、地方の改革案の趣旨に対しても不十分なものとなっています。

財政基盤の弱い地方団体、とくに合併して間もない本市にとっても、財源不足と地方交付税への依存体質からの脱却はまことに厳しく、大きな不安感を拭い去ることはできません。

1. 市町村合併

11月19日に、中道町と芦川村から本市との合併協設置の正式な申し入れがありました。市としては、旧6町村のご意見を伺うことが第一と考えています。

6地域に設置することが決まっている地域審議会については、現在委員の構成を検討している段階で、今後市議会とも十分協議したいと思います。

3. 教育施策

・本市には5つの中学校と13の小学校があります。従来の特徴を生かした教育方針を見出すべく、各校と協議していきます。社会教育については6町村の事業を基本的に継続していきます。

・市内の全図書館で利用できる図書館カードを作成、図書館システムの統合を図ります。御坂町内に建設中の生涯学習センターに併設する図書館も今年4月にオープン予定です。

・市内扇状地に点在する埋蔵文化財の発掘調査と保存・展示・活用に向けて管理と努力が必要です。

・スポーツ振興については、体育協会および各地区のスポーツ少年団や専門部会と協議していきますが、体育指導委員会は10月26日に委嘱式を行い、役員構成も終了しました。

2. 福祉施策

・次世代を担う子供たちが心身ともに健やかに育つための環境づくりは市政の最も重要な課題です。

まず児童館などの施設整備、学童保育をはじめ子育て支援の充実を図ります。

・高齢者が日々安心して生活できるよう、介護保険事業の充実、在宅の介護予防と支援事業、敬老事業の充実を図ります。

・障害者の社会参加と生きがい対策、健康を守る各種検診事業、予防事業の強化を図ります。

4. 次期ごみ処理施設

10月7日、本市と甲府市との協議で、建設地は御坂町八千蔵、八代町高家地区の4.5ヘクタールと決定しました。今後は建設に向けて協議と組織づくりを進めたいと思います。

5. イベント

今年4月の笛吹市桃の花まつり期間中に、一宮マラソン大会、御坂の全国ゲートボール大会など、各種イベントを例年通り開催の予定です。



当面する市政の課題

FUEFUKI CITY

12月定例議会で決まった議案

第一回笛吹市議会定例会は、十二月九日から二十一日までの十三日間の日程で開催され、条例制定二件、条例改正五件、平成十六年度一般会計予算と特別会計予算十七件、建設工事変更契約一件、市道認定一件、規約変更三件および請願十一件が提出され、すべての案件が常任委員会に付託され、審議の結果、全案件とも可決されました。

条例制定

笛吹市議会政務調査費の交付に関する条例
地方自治法の規定に基づき、議員に政務調査費を交付することに関して、必要な事項を定めたものです。

笛吹市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
行政手続等について、通常の書面等により行うものに、オンライン等によるものもできるようにするための諸手続きを定めたものです。

条例改正

笛吹市行政手続き条例の一部改正

笛吹市印鑑条例の一部改正
笛吹市行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例制定に伴い、行政手続条例および印鑑条例の一部が改正されました。

笛吹市農業委員会の委員の定数に関する条例の一部改正
農業委員会等に関する法律の一部が改正された

ことに伴い、農地部会の設置および部会を構成する委員の定数が改正されました。

笛吹市監査委員条例の一部改正

監査機能の充実と強化を図り、行政の公正と能率を確保するため条例の一部改正を行いました。

笛吹市老人医療費助成金支給条例の全部改正

山梨県老人医療費支給事業補助金支給要綱の改正に伴い、笛吹市老人医療費助成金支給条例が改正されました。

予算

平成十六年度各会計に伴う予算が、暫定予算から追加予算を含めて当初予算として提出されました。

笛吹市一般会計予算
笛吹市国民健康保険特別会計予算

笛吹市老人保健特別会計予算

笛吹市介護保険特別会計予算
笛吹市公共下水道特別会計予算

笛吹市簡易水道特別会計予算
笛吹市温泉事業特別会計予算

笛吹市黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算

笛吹市兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管

理会特別会計予算
笛吹市水道事業会計予算
笛吹市一般会計補正予算

以上十七件の予算が提出され、議決されました。

変更契約

春日居町学校給食共同調理場建築工事変更契約の締結

厨芥自動搬送機の設置及び機種の変更により、変更契約を締結する必要が生じ、議会の議決が必要なため提出され、可決されました。

市道認定

市道認定として以下の六路線が提出され、可決されました。

・市道五五八号線 (石和地内)

・市道五五九号線 (石和地内)

・市道五六〇号線 (石和地内)

・市道四五五号線

・市道四五六号線 (春日居地内)
・市道二五九号線 (境川地内)

規約変更

県内の市町村の合併等により、従来加入していた組合等の数の変更についての規約の変更について、議会の議決が必要のため提出され、可決されました。

甲斐市、身延町、笛吹市及び北杜市の設置に伴う山梨県市町村総合事務組合規定の変更

甲斐市、身延町、笛吹市及び北杜市の設置に伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

甲斐市、身延町、笛吹市及び北杜市の設置に伴う山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数の変更

人事

助役に小宮山文明氏



小宮山文明氏が選任されました。
 助役に小宮山文明氏が選任されました。
 宮吹市一宮町東原697番地
 昭和十一年九月六日生

収入役に羽中田弘己氏



羽中田弘己氏が選任されました。
 収入役に羽中田弘己氏が選任されました。
 宮吹市石和町窪中島179番地2
 昭和二十一年四月二十六日生

監査委員に3人



飯田 三郎氏
 (八代町)



金井 豊明氏
 (春日居町)

議会選出監査委員
 小林 始氏

公平委員会委員

宮澤 黎夫氏 (境川町)
 芦野 知夫氏 (石和町)
 片岡 國男氏 (御坂町)

教育委員

中村 喜光氏 (春日居町)
 宇野 耕二氏 (御坂町)
 齋藤 幸三氏 (石和町)
 曾根 敦子氏 (境川町)
 芦原 正純氏 (一宮町)

固定資産評価審査委員

稲山 正氏 (境川町)
 土屋 福夫氏 (八代町)
 曾根 英機氏 (春日居町)

16年度一般会計予算

198億5,999万円を可決

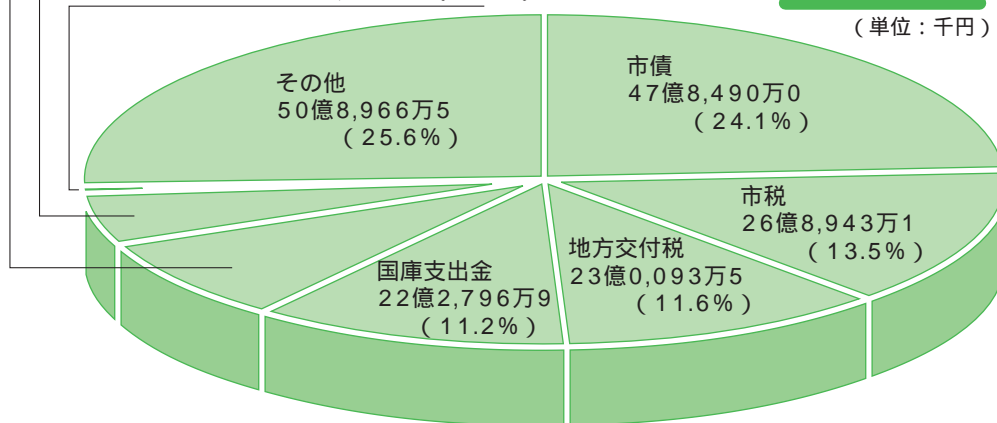
歳入

(単位：千円)

繰越金 10億0,267万2(5.1%)

県支出金 16億2,604万4(8.2%)

使用料及び手数料 1億3,837万4(0.7%)



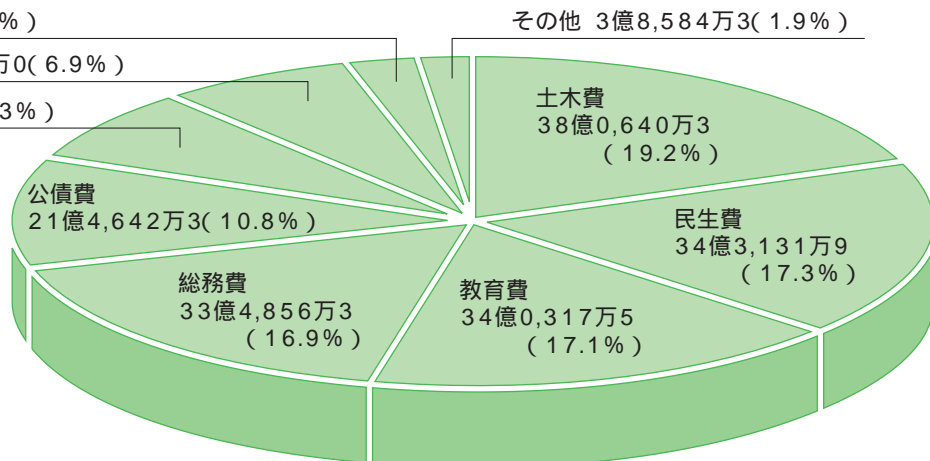
消防費 5億0,656万1(2.6%)

農林水産業費 13億7,584万0(6.9%)

衛生費 14億5,586万3(7.3%)

歳出

(単位：千円)



平成16年度 特別会計

(単位：千円)

国民健康保険



35億9,085万8

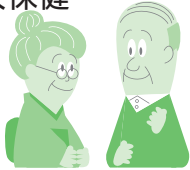
歳入

国庫支出金	15億5,724万2
保険税	12億9,718万4
繰入金	1億6,971万3
療養給付費交付金	3億5,408万2
共同事業交付金	7,770万7
その他	1億3,493万0

歳出

保険給付費	22億2,796万1
老人保健拠出金	7億4,329万2
介護納付金	2億2,878万0
その他	3億9,082万5

老人保健



33億8,057万4

歳入

支払基金交付金	21億0,277万4
国庫支出金	8億3,396万9
繰入金	1億9,103万5
県支出金	2億1,936万2
その他	3,343万4

歳出

医療諸費	33億2,143万1
諸支出金	3,311万7
総務費	1,964万5
予備費	638万1

介護保険



19億1,616万1

歳入

支払基金交付金	5億9,334万8
国庫支出金	4億3,676万8
繰入金	2億5,655万0
県支出金	1億9,640万1
介護保険料	2億2,148万8
その他	2億1,160万6

歳出

保険給付費	18億0,317万4
総務費	9,496万5
その他	1,802万2

下水道事業



31億4,842万2

歳入

市債	14億4,160万0
繰入金	8億1,829万4
国庫支出金	3億4,053万4
分担金及び負担金	731万9
使用料及び手数料	1億7,962万3
その他	3億6,105万2

歳出

下水道費	18億9,349万3
公債費	8億8,272万2
総務費	3億6,882万3
予備費	338万4

簡易水道事業



4億2,539万8

歳入

分担金及び負担金	310万1
使用料及び手数料	1億4,150万7
国庫支出金	4,000万0
繰入金	7,241万8
市債	1億1,100万0
その他	5,737万2

歳出

水道費	2億8,040万6
公債費	9,172万5
総務費	2,709万3
その他	2,617万4

水道事業(収益勘定)



5億7,506万9

歳入

給水収益	3億4,454万3
繰入金	1億6,713万6
受託工事収益	5,331万1
その他	1,007万9

歳出

減価償却費	1億9,211万8
支払利息	8,728万1
総係費	6,955万4
原水及び浄水費	8,765万3
排水及び給水費	3,166万0
その他	1億0,680万3

水道事業(資本勘定)



6億4,713万6

歳入

企業債	1億3,500万0
出資金	526万1
工事負担金	6,758万2
加入金	2,726万8
留保金	4億1,202万5

歳出

水道建設費	3億0,268万2
企業債償還金	9,067万0
営業設備費	270万3
その他	2億5,108万1



渡辺清美議員
(公明党)

問 高齢者の介護予防

筋力強化トレーニングと
総合型地域スポーツクラブ開設を

答 各町村の実績生かし

市独自の介護予防、
高齢者福祉計画を推進

渡辺清美議員 介護保険スタートから四年、平成十五年度までに要介護認定者は約七割増の三七一万人に増えました。筋力の弱った高齢者が転倒し、寝たきりになることが多く、これを予防するためには保健師や運動指導師の指導のもとに、筋力強化による転倒防止、栄養指導などの介護予防サービスを積極的に進めるとともに、地域ごとに歩いて行けるサービスマン拠点を整備する必要があります。また高齢者のための総合型地域スポーツクラブの開設が重要と考えますが、当局の考えを伺います。

内藤運富保健福祉部長 合併前の旧六町村とも健康な老後生活をめざし、転倒・痴呆防止対策や食生活改善、生きがいづくり拠点整備などを進めてきました。国も平成十八年の介護保険制度改正では、介護予防の推進を重点に、新予防給付の創設も予定し、骨折などの直接的な要因対策だけでなく、とじこもりなどの心因的な対応も視野に、介護予防マネジメントの導入も含まれています。



転倒防止教室を各地区でも開設

笛吹市も、こういう制度改正の動向を視野に入れ、各町村で行ってきた特色ある実績を生かしながら、市内全域で介護予防対策を実施すべく検討しています。総合型地域スポーツクラブについては、

国も平成二十二年までに全国の市町村に少なくとも一つの総合型地域スポーツクラブの育成を目標に掲げ、日本体育協会も多世代、多志向を包含した地域スポーツクラブの重要性を掲げています。今後、市体育協会を中心に住民主体の総合スポーツクラブに向けた取り組みが必要であり、市としても働きかけてまいります。

渡辺議員 介護予防対策で、保健部門とのかかわりについて伺います。

保健福祉部長 総合検診をはじめ健康相談、訪問指導、機能訓練、転倒防止教室やレクリエーション教室、料理講習など実施しています。

今後市独自の事業も検討し、笛吹市介護保険事業計画、老人保健福祉計画の策定に向けた準備を進めています。今年度中にニーズの調査を終え、十七年度に計画を作成します。委員構成は一般公募も考えながら設置の方向で考えています。

12月
定例議会

市民の声

一般質問

- 渡辺清美議員 ……10
- 山本富貴議員 ……11
- 亀山和子議員 ……12
- 渡辺正秀議員 ……12
- 松澤隆一議員 ……14
- 前島敏彦議員 ……14
- 川村恵子議員 ……15
- 杉岡喜美雄議員 ……16
- 前田初男議員 ……16
- 大久保俊雄議員 ……17
- 日高せい子議員 ……17
- 新田治江議員 ……18
- 風間好美議員 ……19

問 子供を守る 地域防災対策を

渡辺議員 子供が学校内外で襲われる事件が続発しています。子供の安全を守る市民ぐるみの防犯対策が求められています。学校、まち並みの防犯設備改善、不審者の監視を強化し、学校、警察、地域住民連携による総合的対策が必要です。

小学校に警官OBやボランティアなどの学校警備員の配置が必要と考えます。通学路の安全点検、防犯マップの作成、小中学生全員に防犯ベルの貸与が必要です。また通学路や公園に緊急通報プザー、防犯カメラ付きのスーパー防犯灯の設置、公園や駐車・駐輪場、公衆トイレなど、犯罪に遭いにくい設備改良などについて所見を伺います。

答 予算の確保、警察との 連携システム協議を 進める

芦原正純教育長 旧六町村でも「子ども110番の家」や、声かけ、あいさつ運動」を展開したり、防犯ベル、笛の配布、校内防犯対策としてリモコンによる放送設備、校門のオートロックなど進めてきました。PTAや学校による通学路の安全点検も実施し、危険個所に防犯警報機を設置した町もあります。外部緊急通報システム、子ども緊急通報装置は国のモデル事業として県警により石和町富士見小学校地区

に七カ所設置していただきました。公園や路上で、子どもや女性、高齢者が襲われる犯罪が多発傾向にあり、防犯灯の整備が必要です。ご提案の緊急通報装置、スーパー防犯灯の設置は、予算の確保や警察との連携システムが必要であり、関係機関との協議を進めたいと思います。



山本富貴議員

問 平等川の災害復旧と 改修計画を問う

答 すでに復旧工事施工中 来春二月完成予定

笈形橋は18年度着工

山本富貴議員 十月二十日の台風23号で、石和・春日居町境の鍛冶屋橋付近の平等川堤防は決壊寸前でした。応急措置はなされていますが、復旧対策はどうなっていますか。また同橋の一キロ上流の笈形橋間の改修計画が延期されていますが、その理由と今後の計画、実施時期を伺います。またこの区間に堆積した土砂の浚渫を要望します。

芦澤憲一郎建設部長 台風23号の雨量は石和で一七〇ミリ、これにより県管理の一級河川平等川の鍛冶屋橋付近上下流の左右岸の護岸約一〇〇メートルが崩壊しました。この災害復旧工事はすでに県の塩山建設部により発注されており、現在施工中です。工期は平成十七年二月六日までと聞いています。

笈形橋の改修計画延期は、河川法の改正により環境を重視した事業計画に見直しが必要になったためです。今後の計画は、十六年度は鍛冶屋橋から山沢橋まで一キロの詳細設計がすでに発注済みであり、十七年度に鍛冶屋橋の詳細設計、十八年度着工の予定です。土砂の浚渫も県に強く要望します。

問 石和温泉・春日居町 両駅の北口開発促進を

山本議員 市の玄関である石和温泉・春日居町両駅とも、南口は区画整理や道路整備など開発がかなり進んでいます。北口は立ち遅れ、「南高北低」という声も聞かれます。観光対策および住民の利便性のためにも、北口開発は緊急の対応



北口開発が望まれる石和温泉駅

が必要ですが、市の対処を伺います。また、今回の予算に計上された観光調査費一、七三〇万円には、両駅の調査費は入っていますか。

答 長期計画の中の検討課題

斉藤宏産業経済建設部長 両駅とも観光都市の玄関口として重要な位置付けがされており、旧石和町、春日居町の計画で南口の整備は進められている反面、北口の整備は未着手であり、現在整備方針や手法も決まっています。市の長期計画の中で両駅北口は周辺景観に配慮した開発と、住環境の整備を検討していく予定です。南口整備の進捗状況も見ながら関係機関とも協議していく考えです。今回の観光予算は温泉客の落ち込みに関する調査が対象で、北口の調査は含まれていません。

乳幼児医療費などの窓口無料化制度を求める



亀山和子議員
(日本共産党)

問 亀山和子議員 乳幼児医療費助成制度で、合併前の四町村にあった七〇〇円の自己負担がなくなつたことは評価しますが、旧石和町で実施していた国保世帯の窓口無料化が廃止され、合併でサービスが低下したことに大きな不満がうず巻いています。この制度は子育て中のお母さんたちが、石和町の行政や議会に二年間、粘り強い要請運動をして実現したものであり、これを簡単に廃止し、子育て支援に逆行するやり方は容認できません。県内ほとんどの市が窓口無料を実施しており、これについては笛吹市のサービスは最低です。

母子家庭などひとり親の家庭生活は厳しく、子供が病気になつても安心して病院にかかれないう訴えが多く寄せられています。重度心身障害児と合わせて、医療費の窓口無料化を強く要望します。

答 実施に問題多く 今後精査したい

保健福祉部長 今回の合併にあたり、一



サービスの向上と窓口無料化を...

部町村で実施していた保護者負担金七〇〇円の公費負担を全市に拡大しました。窓口無料化を実施した場合、県補助金の削減、システム構築や事務委託の費用など、市の財政負担も少なくありません。また医療機関への協力要請など多くの課題がありますので、今後これらの問題を精査していきたいと考えています。

亀山議員 部長は県補助金の削減、市財政の負担と言いましたが、その金額をどのくらいと見積っているのでしょうか。

石和町の経過では、開業医の先生方も窓口無料化を歓迎しておられ、市の行政のやる気だけの問題だと思えます。

荻野市長は選挙の時の三人の候補者へのアンケート調査では、窓口無料化についてはもつとも誠意ある前向きな回答をされていますが、公約とも言えるこの問題についての見解を伺います。

保健福祉部長 市の財政負担は、七〇〇

円の自己負担の公費負担が約一、三〇〇万円になります。ペナルティーはおよそ一四〇〜一五〇万円と試算されます。

重度心身障害者の関係は十五年度の実績で推定すると、補助金が約三千万円から三千八百万円くらい減額されると思います。窓口無料のシステム構築費は、石和町の場合で約二〇〇万円かかっています。市全体の場合はこの二・五倍の委託手数料がかかると思えます。市内五一の医療機関との調整も必要になります。

荻野正直市長 石和町では、やっと窓口無料化を実施したところですが、将来的には笛吹市としてもその方向に努力したいと思えます。合併したばかりの現状では一気にすべてを実現していくことは無理があると判断しました。第一段階として七〇〇円の個人負担をなくしたということの評価していただき、順次各医療機関との調整も図りながら進めていきます。

問 地域経済活性化のため 小規模業者登録制度の導入を

亀山議員 競争入札参加資格のない地元の小規模業者で、小規模で簡単な工事の受注・施工を希望するものを登録して、市発注の小規模工事や修繕など、入札によらない工事について、これらの小規模業者に発注することにより、受注機会を拡大し、地域経済の活性化をはかるもので、不況とリストラにあぐら地域経済にとって、たいへん有意義な制度です。県内では甲府、韮崎、南アルプス市が実施しており、甲府市では二〇万円以下、韮

崎市では三〇万円以下、南アルプス市では五〇万円以下となっています。受注した業者からは、初めて公共の仕事ができたことと喜ばれているということです。本市でもぜひこの制度を導入するよう要望します。

答 130万円以下は随意契約可能

石川光次総務部長 県内では甲府市、南アルプス市がすでに導入し、韮崎市が来年度から実施します。本市では十月に指名選考会議を開催して、随意契約業者の選定を協議しました。市の財務規則で、請負額が一三〇万円を超えないものは、予定価格を定め、二社以上のもから見積書を徴し、入札参加資格の有無にかかわらず指名して随意契約をすることができると考えていますが、制度の導入については今後慎重に考えたいと思えます。

問 市財政の見通しを問う



渡辺正秀議員
(日本共産党)

渡辺正秀議員 正確な中長期財政見通しのない議論や計画は空論であり、無駄な事業で市財政の破綻につながります。県の市町村課による笛吹市合併後十五年間の財政シミュ

レシヨンは、数百億円の誤りが明らかになりましたが、幸いその後旧町村職員によりかなり正確な財政試算が作られました。しかしまだ大幅な修正が必要だと思えます。

1 新市の財政計画の地方交付税額には、市債の元利償還の減に伴う交付税の算入額の減が反映されていません。私の試算では十五年度で四〇億円以上の減になると思いますが、市の計算ではどうなっていますか。

2 特別会計、企業会計への繰出金、補助、負担金の増加が懸念されますが、計画通り旧町村の下水道布設を進めた場合の繰出金の増減を伺います。

3 平成十四年度に新市建設計画の財政計画を作った時点と、十六年度末各会計の市債残高、基金残高がどのように変わるのか。

これらを含め財政計画の見直しについてどう考えていますか。

答 現時点では 財政試算は難しい

総務部長 合併前の財政計画はその時点でのデータをもとに概算したものであり確かに減額もあると思えます。現時点は本年度の予算編成が終わったばかりで、これから十七年度予算にとりかかる段階です。合併特例債事業をはじめ、主要事業計画の規模もこれから決めていくことになりません。基本となる市の年間予算が見えない現時点では、数値を試算できる

段階ではありません。下水道への繰出金も、市の下水道整備計画が確定しないと将来的な見込みは立ちません。

中川啓次企画財政課長 交付税の減額分は、平成十二年から十五年までの三年間の実績で見ると二億一千万円の減額ですが、年度によって大きな差があります。これは、起債の償還期限の差によるものです。

渡辺議員 県のシミュレーションでは本市の十年間の建設事業費は九三六億円、七月の合併協試算では七九四億円、新市の財政計画では七五三億円、私の計算ではもっと減ります。多額な建設計画が行すれば財政破綻は必至です。財政計画の修正の必要について伺います。

総務部長 予算の立て方も変わっており、以前は事業に合せて予算を見つけてくるということでしたが、これからは収入と財源に合わせて事業を計画するようにしなくてはなりません。厳しい状況の中で歳出の削減、健全な財政運営に努めていきます。

問 旧町村の良いところを 笛吹市にどう引き継ぐか

渡辺議員 旧町村がそれぞれ力を入れてきた良いところを、笛吹市にどう引き継ぐかということが大切ですが、市長の姿勢を伺います。具体例として、八代小学校の障害児教育支援の先生は現行通り確保するか。また旧一宮町の修学旅行の補助制度、旧境川村のタクシー利用補助制度は存続させる考えですか。

市民の足として欠かせないぐるりバス



答 現行サービスは低下しない方 向ですが、境川のタクシー補 助制度は廃止を含めて検討

保坂利定秘書政策室長 境川の飯田蛇笏先生や、一宮の甲斐国分寺跡などの素晴らしい文化や史跡を、市民共有の財産として市内外に効果的に伝え、躍動する文化都市を実現したいと考えます。合併協

議の過程では、現行サービスを低下させないことを原則にしてみましたし、合併後もより高い次元でのサービスの一元化を図ります。厳しさを増す財政の中で市民の求めるサービスに応えるためには、行財政改革を推進し、事務事業を精査、選択し、収支の均衡を図らなくてはなりません。地域や民間のお知恵を拝借する仕組みとして、市民サポーター制度を創設したいと考えています。

教育長 障害児童生徒の適正就学指導事務は東八地区共同で行ってきましたが、普通学級への就学希望が増えていきます。教職員の加配は町村の財政事情によって行われてきましたが、市単独の支援、介助職員が必要な現場もあります。委員会としては県の加配、補助など、なんとか従来の配置ができるよう努力します。一宮町の修学旅行の補助制度は、PTAも了解のうえ従来の全額補助から半額補助ということになりました。

保健福祉部長 旧境川村の高齢者、通学高校生、身障手帳交付者のタクシー利用一回に五〇〇円、年十回分補助するもので現在も実施しています。

十七年度以降は、総合的な足の確保対策の中で、巡回ぐるりバスの運行を継続し、タクシー補助制度は廃止を含めて検討したいと思えます。

福祉タクシー事業は市独自で内部障害者も対象に入れ、利用回数も二倍の四十八回と大きく拡充しました。

問 全市を包括する 防災無線の整備計画は



松澤隆一議員

松澤隆一議員 台風による笛吹川の洪水、土砂災害、東海地震など自然災害の脅威に対し、市は新しい地域防災を進めていると思いますが、防災上最も重要なことは、いかにして住民に正確な情報を迅速に伝える、適切な勧告や指示を伝達することですが、防災無線の現況を伺います。また市全体を包括する防災無線を軸と



いつ起こるか分からない災害のために早急な整備が必要

した情報伝達の施設整備計画の策定と事業推進について伺います。

答 全市一元化した防災無線 計画に前向きで取り組み

総務部長 旧六町ごとの防災無線は、昭和五十五年設置の春日居地区から、平成十二年度設置の石和地区まで老朽度の差も広く、石和地区はデジタル対応ですがその他の地区はアナログ方式です。六地区の施設とも機能に問題はありませんが一斉放送ができないので、リアルタイムの情報伝達できません。

県の防災システムが各支所に設置されていますので、受信し次第地域住民への伝達は可能ですが、支所が無人になる夜間は、緊急連絡受信者を数人指定して、緊急時に対応しています。

夜間の出火時の消防団への伝達は、消防無線受令機を増設配備して早期出動を維持する予定です。

全市一元化した新しい防災行政無線の構築は早急に必要な課題ですが、これには莫大な経費が必要であり、新規設置の場合は周波数の統一とデジタル化、基地局、中継局の設置、エリアの見直しなどが必要です。これらを分析、研究しながら、総合政策の緊急の課題として取り組んでいきます。

松澤議員 災害は明日発生するかもしれない。段階的に年次計画で、全市を統括する防災無線整備計画の取り組みに期待します。

問 果樹振興と笛吹市 ブランド確立をめざして



前島敏彦議員

前島敏彦議員 荻野市長は笛吹ブランドの確立をめざしていますが、ブランド化としては農業・温泉観光・歴史文化ゾーンなどが考えられ、多方面のブランド確立が市の活性化に有効と思います。市長がまず力を入れて取り組みたいものは何か、伺います。

二点目として、市内一四〇ヘクタールの遊休農地を活用し、都会人が余暇を長期にわたり農村に滞在して農業に親しみ土と緑に癒やされるグリーンツーリズムや、観光農業の振興に取り組む考えはありますか。

三点目として、市面積の半分を占める山林から、クマ、サル、イノシシやカラスなどが中山間地の果樹栽培地を荒らし鳥獣害は深刻です。中山間地の果樹振興と鳥獣害の被害対策を伺います。

四点目に、石和温泉を例にとると、観光客はピーク時の一六〇万人から平成十五年には一〇〇万人を割っている現状です。新市建設計画では「春の花」「夏の花火」「秋の果実」「冬の温泉」など四季を通じて各種イベント、「フォーシーズン

ンフエスティバル」開催を計画していますが、最近はこの観光地でも女性客をターゲットに各種イベントを展開しています。笛吹市は夏から秋にかけてのイベントが少ないように思います。全国に向けて収穫祭、甲斐路の祭り等のイベント開催を考えていますか。

答 「果樹王国笛吹」の ブランド確立へ

市長 笛吹市は名実ともに全国屈指の果樹の里です。温泉など観光資源と結んだ「果樹王国笛吹」のブランドを定着させるため、他の産地と差別化を図り、より有利な消費地の確保、生産物の商品化、地産地消の促進を進めるとともに、さまざまなメディアを利用した情報戦略、旅館や観光業者と提携した観光戦略、そして市民自らの地域づくりが重要だと思います。

産業経済部長 旧町村が取り組んできた都市住民との交流、他地域との物と人の交流をより活発化し、観光農園、観光施設、農産物直売所、農産物加工所などの相互連携した情報の発信が大切です。都会人に田舎暮らしを体験し、長期滞在してもらおうグリーンツーリズムの取り組みも検討していきます。

農業後継者の減少と高齢化に加えて、有害鳥獣の被害が増え、農家にとっては死活問題になっています。また果樹の耕作放棄の後もしばらく果実をつけ、知らないうちに野生動物の餌付けになってい



る場合があり、管理が必要で
被害防止策は個人対応だけでなく、地
域が一体となった対策が必要です。

電気柵、トタン、ワイヤーメッシュの
ほか威嚇音響や臭いによる忌避効果など
があります。市としては引き続き猟友会
の協力を得るとともに、電気柵の設置補
助など対策を講じていきます。

市の耕地面積三、五〇六ヘクタールの
八九%を占める三、一三三ヘクタールが
果樹園であり、全国有数の果樹王国です。
各町村で販路と消費拡大に向けてさまざ
まな取り組みが行われてきましたが、こ
れらの事業を継承し、さらに効果が上
がるよう検討していきたいと思いま

す。
前島議員 高齢化が進む農業に若者が定
住できるよう、市としての援助策は考
えていますか。

産業経済部長 新規就農者の誘致により
遊休農地の解消を図りたいと思いま

す。
それには農業構造改革特区の導入もひ
とつの方法かと思えます。また各種資金
制度の活用には、全面的に協力してい
きます。

市民の足

問 巡回バスの運行計画は

前島議員 本市の高齢化率は二〇・七%、
一万四、八一七人となり、外出が思うよ
うにできない高齢者も多くあります。旧
一宮町や境川村で実施し好評だった巡回
バスを市内の駅、病院、公営温泉その他
公共施設を結んで、広域的に運行するよ
うな計画がありますか。

答 現行継続しつつ総合的に検討

総務部長 旧一宮町の循環バス、境川村
の巡回るりバス、御坂町のみさかの湯
送迎バスは引き続き住民に利用されてい
ます。この維持費は宮 九二四万円、境川
四〇〇万円、御坂 二九四万円です。このほ
か市内を運行している十三のバス路線に
は約一、八〇〇万円を、いわゆる赤字補
填事業として支出していますが、これも
維持していかなくてはなりません。

今後、現状の運行を継続しながら、市
民の足の確保を図り、公共施設の利用状
況や過去の経過など、市内全域を総合的
に分析して検討していきたいと思いま

問 24時間資源ごみリサイクル ステーションの設置を



川村恵子議員
(公明党)

川村恵子議員 ごみの減量、
資源リサイクルによる循環型
社会の形成に向けて、住民一
人ひとりの意識とライフスタ
イルの改革が求められ、小中
学校九年間の環境教育が特に
重要です。市でもごみ対策の
統一化が論議され、「市民暮
らしのガイドブック」には平
成十七年度からのごみ収集に
ついて出ていますが、四点に



今年4月から指定ゴミ袋を導入

- 1 燃えるごみの収集日が祭日と重なった場合、春日居のように祭日も収集するの
- 2 大型連休など、ごみが普段よりも多く出るときの収集方法は。
- 3 地域によりバラツキのある燃えるごみ収集ステーション設置場所の見直しは。
- 4 分別ごみをいつでも出せる二十四時間リサイクルステーションを、設置してほしいという市民の声に添えていただきたい。

答 17年度から指定有料ごみ袋導入 24時間ステーションは導入せず

堀内正徹市民環境部長 平成十七年三月
の年度末までは現行の方法で行い、四月
の新年度からは笛吹市として統一した方
法で行います。そのため今各地区の環境
委員や女性団体のご意見も聞きながら、
詰め作業をしているところです。

燃えるごみは週二回、粗大ごみは従来
通り、資源物(空き缶・ビン・古紙)は
月一回、有害ごみ(乾電池等)は年三回
有料ごみ(古タイヤ、バッテリー等)は
年一回、ミックスペーパー、プラスチック
は月四回収集の計画です。

- 1 祭日と重なる場合も当日収集します。
- 2 年末や連休の後は特別収集で対応。
- 3 ステーションの位置は現行のままとなります。
- 4 二十四時間資源ごみ収集ステーションは、県内のいくつかの町村で実施していますが、実績はよくないようです。やはり決められた日に、お互いの目でチェックしてもらったことが有効と思われる

十七年四月からは統一した有料の指定
ごみ袋を導入する方向です。中が見える
透明なもので、燃やしても有害なガスの
出ない材質の袋を使用する予定です。

社会体育・スポーツ振興対策を問う



杉岡喜美雄議員

問 杉岡喜美雄議員 合併六町村では町村内、郡の体育祭参加をはじめスポーツ振興に大きな成果を挙げてきました。健康で明るい笛吹市をめざす上で、スポーツ少年団から高齢者のレクリエーションスポーツまで、社会体育の振興は重要です。体育協会、体育指導員、スポーツ振興審議会など市民の要望を十分把握し、今後のスポーツ振興策を立てていただきたいと思ひます。

答 スポーツ振興は笛吹市づくりの重点
総合スポーツ公園の整備も視野に

教育長 合併前の六町村は県下でもトップレベルの成績を収めてきました。市民の健康とスポーツを通じた仲間づくりが市の活力となります。先に市の体育指導員を委嘱し、各専門部を構成して、今後の方向づけを進めています。体協、スポーツ少年団は来年四月の統合をめざして話し合いをしています。スポーツ振興審議会も各地区、各階層から委員を選出し、早急に諮問したいと考えています。施設の充実、指導者の

確保、情報の把握が大切であり、市民の意見を反映しながら、総合スポーツ公園の整備、総合地域スポーツクラブの育成なども視野に入れて、振興策を構築していきたいと思ひます。

杉岡議員 六町村とも体育関係の補助金ポートにより、成果が挙げられたと思ひます、県体育祭でも境川の十連覇をはじめ、輝かしい成績を収めてきました。厳しい財政下ではありますが、スポーツ振興は最大の医療費抑制でもあり、これからの施設使用料の減免はぜひ続けていただきたいと思ひます。

高野あけみ教育次長 減免の規定は四月に向けて案を作成中ですが、体育協会、スポーツ少年団は当然その中に含まれています。しばらくお待ち下さい。



今後は指導者の育成を含めたスポーツ振興を

市長 笛吹市が大きな市になる要因としてスポーツの振興があると思ひています。一部の地域では、社会体育をした人がスポーツ少年団の指導に当たっておられますが、すばらしいことだと思ひます。一歩たりとも後退するような施策ではならないと思ひています。

問 中道町・芦川村の
笛吹市合併申し入れ
への対処は



前田初男議員

前田初男議員 十一月十九日に中道町と芦川村の町村長から笛吹市との合併申し入れがありました。両町村とも東八代広域行政の中で共に歩んできた歴史がありますが、この申し入れに対する市長の考えを伺います。

答 短期間での市民意思集約は困難

市長 合併申し入れについては、市民の意見を聞くことが第一だと思ひますが、六町村の合併協議会が住民の意見を取りまとめるのに三年以上を要しました。笛吹市の地域審議会を立ち上げる作業も今進めています。地域審議会に両町村と

の合併について諮問し、意見を集約するにはさらに期間が必要であり、短期間で結論を出すことは困難だと思ひます。中道町と芦川村内の住民の意見の中にも、甲府との合併や単独存続の意見が多数あるようです。住民のコンセンサスを得るための手順は、可能な限り周到に進めるべきだと考えます。

前田議員 市長は施政方針で、中道町、芦川村の合併申し入れについては、一月中をめどに地域審議会を設置して検討すると述べましたが、一月中では合併特例法の期限には間に合わないと思ひます。四月以降の合併では笛吹市にはメリットはないと思ひます。中道町議会、区長会も笛吹市に要請にきていますが、市長はどのくらいの時間をかけて合併するのかあるいは難しいのか伺います。

答 笛吹市も合併したばかり…

市長 当初からの経過を考えれば、合併は東八代広域を基本に、豊富村の萩原村長が会長として協議会がスタートしました。その後、中道町と芦川村が自らこの枠から外れ、上九一色村とともに甲府へということになったのです。そのため豊富村はこちらに来ることができなくなりました。今になって中道と芦川が目前に迫った合併特例法の期限内に合併したいと言ってきたら、笛吹市も合併したばかりであり、これからの事務事業も決してスムーズとはいえず、この合併についての議論はなかなか難しいと思ひます。

問 日本一の観光都市をめざす 笛吹市の観光施策を問う



大久保俊雄議員

大久保俊雄議員 温泉観光と農業観光を一体化した総合的な観光行政の推進には、経済環境、文化、歴史などの専門分野の知識を集約した総合的プロデュースが必要です。それには旧態依然とした縦割り

の管理型行政運営から、経営型の行政に転換する改革が必要ですが、産業経済部にはどのような権限と企画調整能力を持たせるか伺います。

これまでの観光行政は、観光キャンペーンなどPR事業と、観光客誘致のためのイベントが主流でしたが、こうした行政主導の観光キャンペーンの効果を見直す時期がきていると思います。イベントによる瞬間的な集客のみに頼らず、リーダー、すなわち笛吹市にまた来たいと思う来訪者を一人でも多く獲得することが必要です。石和温泉では観光従事者と住民が一体となって、観光客のイメージに合う、また住民にも暮らしやすい街並みづくりをめざす取り組みを展開しています。近津用水を生かしたつるおいある環境づくり、ごみ投棄の撲滅運動など、観光協会、商工会、JA、そして民間のボランティア団体、NPO法人などが連携して成果を上げています。民間活力を生かし、住民の協力を引き出す地道な努力に対して、市としても積極的な支援をすべきですが、所見を伺います。

答 来春は全市統一の 「笛吹市桃の花祭り」に

産業経済部長 日本一の果実温泉郷の豊かな観光資源をいかに全国に、世界に発信していくかが大きな課題です。これまでのキャンペーンは行政主導でせざるを得なかったのですが、観光客の受け入れ意識の向上という点から考えると、民間

の参加、協力は不可欠です。関係機関である観光協会、商工会、JAとの連携はもとより、市民一人ひとりに行政への提言、アイデアづくりにご協力をいただきたいと思えます。

来春には新市初めての統一イベントとして「笛吹市桃の花祭り」を行います。統一ポスターの作成、各地の花見会場を巡回するバスの運行や、散策コースの充実などを検討しています。

大久保議員 春の統一イベントという計画を聞きましたが、一年を通じて、夏の花火大会とか、各地の歴史と文化に基づくイベントがあります。効率化は必ずしも一つにまとめればよいということではないと思います。地域の伝統とどう整合性を持たせていくのかを伺います。

産業経済部長 統一イベントも、各地域の特色を大事にしながら、全市で一体となって花見ができるように、各旧町村単位の運営委員会をつくって実施したいと

問 市の福祉施策の構想と子育て支援策は



日高せい子議員

日高せい子議員 市長が選挙公約として掲げた高齢者に優しい、きめ細かい福祉の推進と、少子化対策として子育て環境

考えています。

問 バリアフリーの都市づくりを

大久保議員 来訪者や高齢者、障害者も安心して行動し、暮らせるような施設のバリアフリー化を、石和温泉駅および新市庁舎をはじめ現庁舎、支所、道路など公共施設や宿泊施設など、市全体で推進する方針について伺います。

総務部長 地域全体のバリアフリー化は今後の重要課題です。石和温泉駅周辺では現在、駅前土地区画整理事業、市部通り整備事業などのプロジェクトにバリアフリー構想を取り入れ、十七年度には駅改札口と上りホームを結ぶエレベーターを設置します。

市としても今後公共施設をはじめとして建築物、交通機関、歩行空間等がすべての高齢者、障害者、さらに市を訪れる人々にとって安全、快適な環境となるよう推進してまいります。

の整備は、すべての市民の願いです。

既存の福祉施策、サービスをどう一体化するのか、地方分権のなかで、地域の実情に合わせた地域福祉をどう推進していくのか伺います。

少子化の要因は複雑ですが、市長の考えによってその成果にも大きな違いが生ずると思えますので、具体的な支援策を伺います。



市の統一イベントとしての観光施策を
川中島合戦絵巻



答 17年度には計画を策定

「次世代育成」は12月に
策定委員会設置

市長 新市建設計画に基づき、旧六町村が策定していた計画の一本化が必要ですが、法で策定が義務づけられている市の介護保険計画、老人保健計画は、平成十六年度中に二丁調査を実施し、十七年度中には策定したいと思えます。

障害者福祉計画および地域福祉計画の



子育て支援の環境整備が進んでいます

策定も進めます。平成十二年には利用者の選択制に改められましたが、この考え方を踏まえて、利用者の意見を取り入れた福祉施策を推進したいと考えています。保健福祉部長 国の方針に基づく子育て支援策として、平成六年のエンゼルプランに始まり、新エンゼルプランを策定して少子化への歯止めを努めてきました。本年度は一宮町、春日居町に児童館および学童保育施設を建設中であり、石和町にも計画中です。

平成十五年に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、市町村は行動計画を策定することになっていきます。この計画には子育てを支援する生活環境の整備、職業と家庭の両立など六つの柱が示されています。これに基づき十二月十二日に策定委員会を立ち上げ、子育て支援に取り組みます。

日高議員 地域福祉計画は市町村に義務づけられてはいますが、笛吹市となつて所轄管内が広がり、地域のことは地域で考え、解決に向けた実践的なサポートができるという意味で、早急な着手が必要と思えますが、お考えを伺います。

加藤寿一福祉事務所長 地域福祉計画はたいへん幅広く、高齢者、介護、障害、児童福祉などを包括した計画になりますので、実行性をもたせるために、社会福祉協議会を主体に、関係団体との調整を図りながら策定を検討していきます。

日高議員 少子化に危機感を持ち、市長はリーダーシップを発揮し、進捗状況を確認しながら継続的に取り組んでいただ

市民の声

般質問

きたいと思えます。すでに企業では社員育成ということで取り組んでいます。行政サイドでは子育て支援策でなにか考えがありますか。



新田治江議員

問 どう進める男女共同参画の笛吹市

新田治江議員 活力ある笛吹市づくりには、男女が対等な市の構成員として、方針決定に参画する機会を確保することが必要です。次の点についてどう考えていますか。

- 1 各種審議会への女性の登用
- 2 管理職への女性の登用
- 3 男女共同参画プランの策定は六町村で歩み方が異なるが、どう進めるか

答 積極的に女性の登用を進めたい

市長 旧六町村のうち五町村で基本計画が策定され、推進を図ってきました。笛吹市の市政やまちづくりは、市民参加の中で、女性の登用の方向性を出していきたいと思えます。審議会の構成も男女の別にこだわらず、管理職への登用も職員的能力に応じて配置していきます。男女

福祉事務所長 育児休暇とか、男女同条件の雇用など、子育てのしやすい職場環境づくりに向けて、新組織で検討していきたいと思えます。

共同参画プランも旧町村の計画と、基本的な理念を踏まえて、新たな計画を策定します。

新田議員 審議委員は平成十六年四月現在で、〇九六人、うち女性は一八二人で一六%です。旧石和町は十九年度に審議委員の五〇%を女性にという目標を掲げていますが、市の登用率をもっと高めてほしいと思えます。

市長 パーセンテージで答えるのはたいへん難しいですが、基本的に一人でも多くの女性を登用したいと考えています。

問 支所の空きスペース 備品の有効活用を

新田議員 旧町村各支所に空き会議室が増え、活気がなくなったという声を聞きますが、現状はどうなっていますか。またこれからの活用策、とくに地域の活性化に利用できないものか、伺います。

答 有効活用を検討したい

総務部長 各支所の会議室はそれぞれ部内の会議や、行政団体の会議に利用しています。支所は職員の減少により、執務室のスペースが一部空きましたが、相談業務、書類の保管場所などに活用するよう検討中です。



新田議員 鍵がかかって使えない所や、ガレージにロッカーなどが詰まっている箇所も見受けます。新聞の投書にもありましたが、合併で不要になった備品は販売とか入札で有効に活用していただきたい。また空き会議室はリサイクルプラザにとか、議場は視聴覚室などに活用したいという声もありますが、いかがでしょうか。

市長 私も見て回りましたが、不要備品が山積みで見ると耐えないような所もありました。総務部長と相談しながら有効活用したいと思います。空きスペースについては、子育て支援への活用なども含めて考えていきます。



有効活用が望まれる各支所の空スペース

問 ごみ処理施設建設に要望する



風間好美議員

風間好美議員 八代町の住民要望二点について伺います。

1 ごみ処理施設の候補地として、当初八代北区、増田区も名乗りを上げ、誘致に向けて協議してきましたが、甲府および八町村ごみ処理協議会は御坂町八千蔵八代町高家地区と決定しました。増田区、北区が候補地から降りることについては地域の意向を見極め、慎重な対応を求めます。

なお建設に当たっては、環境アセスメントによる安全性の確認をはじめ、設置期限、搬入路等の諸条件について、市および地元住民と誠意ある話し合いを望みます。

答 全国に誇れる安全な施設をめざす

市民環境部長 御坂町八千蔵、八代町高家地区への建設に当たっては、近く建設地近隣の行政区長さんにお集まりいただき

ごみ処理施設建設予定地



き、ご意見等をお聞きしたいと思えます。また、安全性を最優先に、全国に誇れる市民に受け入れられるごみ処理施設をめざしていきます。

風間議員 増田区が候補地から降りる件については、仮称・小瀬八代線、砂原橋の架け替え等を重点に、五町村で県へ要望したと聞いていますが、どのような具体的計画で進めていくか伺います。

市民環境部長 ご要望は重く受け止め、市の建設計画の中に入っていますので、実現を図っていきます。

建設部長 一日も早い着工に向けて努力していきます。

問 中山間地域整備事業にどう対処するか

風間議員

2 旧八代町の中山間地域総合整備事業として十二億八、六〇〇万円の事業計画がなされましたが、今後この事業遂行のために、市の重要課題として地域住民の要望に心える取り組みを要望します。

答 一部は発注済み 交流広場は設計を委託

産業経済部長 旧八代町の中山間地域総合整備事業は、平成十四年に県の、十六年四月に関東農政局の採択を受けました。実施期間は十六年度から二十一年度までとなっています。「花とみどり」と果実にあふれる農業いきいき八代」を将来像に掲げ、桃栽培を軸に、都市と交流する農業の基盤整備、生活環境、生態系整備などの事業に取り組み、農道、水路、溜池、圃場整備、鳥獣害防除、さらに都市住民との交流拠点としての広場建設などを計画しています。

道路、水路の各一路線はすでに発注済みです。その他の事業実施については現在県・市の関係部局で協議しています。交流広場は補助対象面積一万四、八六〇平方メートルで、米倉地区を予定し、十六年八月十三日、県より基本設計を発注してあります。

日本一の観光都市を目指していますが、
実現は可能ですか？

笛吹市役所に聞いてみました。

全市統一の「笛吹市桃の花祭り」で
イベントがスタート

新しく合併した笛吹市では、
日本一の果実温泉郷の豊かな観
光資源を、全国や、また世界に
発信していくのが、これからの
大きな課題です。

これまでのキャンペーンは、
旧町村が独自で、行政主導でせ
ざるを得なかったのですが、観
光客の受け入れ意識の向上とい
う点から考えると、笛吹市がス
タートして広域的に観光行政が
展開できることは大きな利点です。
しかし、これだけではまだまだ
不足しているところがあり、こ
れからは民間の参加・協力によ
って、大きな力で全国に発信す
ることが必要なのです。市民一
人ひとりからの行政への提言、
アイデアづくりにご協力をいた
だくことが非常に重要だと思っ
ます。

今春は新市初めての統一イベ
ントとして、「笛吹市桃の花祭り」
を行います。統一ポスターの作成

市内各地の花見会場を巡回する
バスの運行、散策コースの充実
などによって、多様化する観光
客のニーズに応えられるように、
十分検討を重ねています。

年間を通してのイベントも
必要なのですか？

そうですね。統一イベントも、
各地域の特色を大事にしなが
ら、全市で一体となつて花見がで
きるように、各旧町村単位に運営

委員会をつくって実施したいと
考えていますし、笛吹市全体と
して、年間を通じたイベントを
行うことも必要です。

保養、療養、休養の三養をテ
ーマにして、温泉や医療、地産
地消を生かし、果樹農業と融合
する観光都市として、豊富な観
光資源を活用した笛吹ブランド
の確立が必要で、これらをベ
ースに、日本一の観光都市を目指
していきたいですね。



ぼくの名前を
募集してます。

上の人形は、市民の皆様とともに、行政
や議会に対する疑問点など、皆様と同じ目
線に立って、問題点を追っていきます。
かわいい名前をつけてあげてください。
次号からも登場し、四季折々に衣装もかえ
活躍します。なお、名付け親になつてい
ただいた方の中から抽選により、素敵なプ
レゼントを差し上げます。

議会事務局まで、葉書でご応募ください。
締切は平成17年3月31日(当日消印有効)

編集後記

冬枯れの厳しい寒さ
の中にも、春の訪れを
感ずる季節です。

昨年十月、六町村が
合併し笛吹市になりま
したが、市民の皆様の
意見や提言を聞きながら、
素晴らしい市政実現の
ため、議会もスタート
を切りました。

笛吹市議会だよりは、
市民の皆様には、議会の活
動や審議状況等を広く
知っていただくため、
定例会ごとに発行され
ます。

創刊号である本号は、
議会構成をはじめ、市
民の生活に直結する議
案の審議や一般質問、
市長の施政方針等を掲

載しました。

編集委員会は、でき
るだけ分かりやすく、
親しまれる議会だより
発行にむけて、精一杯
がんばりますので、ご
愛読をよろしくお願
いいたします。

なお、議会だより
に関するご意見や投稿、
また、議会傍聴を希望
される方は、議会事務
局までお申し出ください。

議会広報編集委員会
委員長 堀内 文蔵
副委員長 亀山 和子
委員 大久保俊雄
日高せい子
前田 初男
渡辺 清美

笛吹市議会事務局
TEL055-262-4111(代)
FAX055-262-4115



笛吹市議会だより No.1

〒406-8510山梨県笛吹市石和町市部777
TEL.055-262-4111(代)FAX.055-262-4115
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>



笛吹市議会だより No.1 20